

令和5年11月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(令和5年度11月補正予算等関係)

農林水産部

トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

令和5年11月定例会議案説明資料目次

農 林 水 産 部

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 2 号	令和5年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)		
	1 補正予算説明資料	(総括表)	3
		経営支援課	4
		生産振興課	6
		農地・水保全課	10
		畜産振興課	13
		県産材・林産振興課	14
	森林づくり推進課	16	
	漁業調整課	19	
	食パラダイス推進課	20	
	東部農林事務所	21	
	2 公共事業補正予算総括表	農地・水保全課 県産材・林産振興課 森林づくり推進課	22
	3 歳入歳出事項別明細書		28
	4 節の明細		35
	5 繰越明許費に関する調書	経営支援課 ほか	36
	6 債務負担行為に関する調書	農業大学校 ほか	40

【予算関係以外】

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 14 号	鳥取県営境港水産物地方卸売市場の設置等に関する条例の一部を改正する条例	水産振興課	42
第 22 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立農村総合研修所)について	農林水産政策課	44
第 23 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立とっとり花回廊)について	生産振興課	49
第 24 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館)について	生産振興課	55
第 25 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立二十一世紀の森)について	林政企画課	60
第 26 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立とっとり出合いの森)について	林政企画課	65
第 27 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県立とっとり賀露かっこ館)について	水産振興課	70
第 28 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県営境港水産物地方卸売市場及び境漁港)について	境港水産事務所	75

報告番号	件 名	課 名 等	頁
第 2 号	議会の委任による専決処分の報告について (6)損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について(令和5年11月16日専決)	農林水産政策課	79

議案説明資料総括表

農林水産部(単位:千円)

課名	補正前の額	補正額	計	財源内訳				備考
				国庫	起債	その他	一般財源	
経営支援課	1,031,685	110,000	1,141,685	110,000				
生産振興課	1,797,307	355,634	2,152,941	108,000		152,280	95,354	
農地・水保全課	12,919,861	2,147,849	15,067,710	1,275,971	538,000	243,980	89,898	
畜産振興課	2,241,048	75,000	2,316,048	75,000				
県産材・林産振興課	7,950,229	236,015	8,186,244	200,368	6,000	1,125	28,522	
森林づくり推進課	1,774,824	532,178	2,307,002	330,558	114,000	56,768	30,852	
漁業調整課	215,500	3,971	219,471				3,971	
食パラダイス推進課	274,067	10,000	284,067				10,000	
東部農林事務所	9,131	10,000	19,131	5,000	2,000	1,000	2,000	
合計	35,675,076	3,480,647	39,155,723	2,104,897	(331,000) 660,000	455,153	260,597	県費負担額 591,597

説明【主な事業】		
区分	予算額	内容
一般事業	609,649	(新)産地生産基盤パワーアップ事業 118,500 (新)鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業 232,134 (新)コメの高温障害対策緊急事業 3,000 (新)木材産業国際競争力強化対策事業 216,015 森林病虫害等防除事業 30,000 (新)インバウンド・国内観光誘客促進「食パラダイス鳥取県」魅力発信事業 10,000
公共事業	926,100	(新)農地防災事業(国補正) 926,100

(注)起債欄の()書きは交付税措置額を除いた額である。県費負担額は、起債欄の()書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

経営支援課(内線:7269)

1目 農業総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)担い手確保・経営強化支援事業	0	60,000	60,000	60,000				
トータルコスト	0	60,780	60,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付事務、国・市町村との調整				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

次世代を担う意欲のある農業者の経営発展を促進するため、農業用機械・施設の導入に対して支援する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業内容	実施主体	補助対象者	補助率	予算額
金融機関からの融資を受け、農業用機械、農業用ハウス等の施設を整備する場合に必要な経費に対して助成する。	市町村	地域計画(目標地図)に位置付けられた将来の地域農業を担う者等(認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織)	総事業費の1/2以内 (補助上限) 個人 15,000千円 法人 30,000千円	60,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

年間1,090haを新たに担い手に集積する。

(2) 取組状況・改善点

国の「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成のために、国の事業が令和5年度補正予算化された。

県はこの事業を積極的に活用して、担い手の経営発展を支援し、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成・確保を進める。

○令和5年度明許予算(担い手確保・経営強化支援事業)37,273千円

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

経営支援課(内線:7269)

3目 農地調整費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 農業構造改革支援基金積立事業	0	50,000	50,000	50,000				
トータルコスト	0	50,780	50,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	基金積立事務				

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

農地中間管理機構を通じた担い手への農地集積・集約化の促進を支援するため、必要な経費を鳥取県農業構造改革支援基金(平成25年設置)に積み立てる。

2 主な事業内容

農地中間管理機構を活用し、地域の農地を貸し手から幅広く集積し、これを集約化して担い手等へ貸し付ける地域に対し、機構集積協力金を交付するための経費について基金に積み立てる。

区分	事業内容	実施主体	積立額(千円)
機構集積協力金交付事業	地域の話し合いにより、まとめて農地中間管理機構に農地を貸し付けた地域や農地の集約化、担い手の確保に取り組む地域への支援	市町村	50,000

3 事業目標・取組状況・改善点

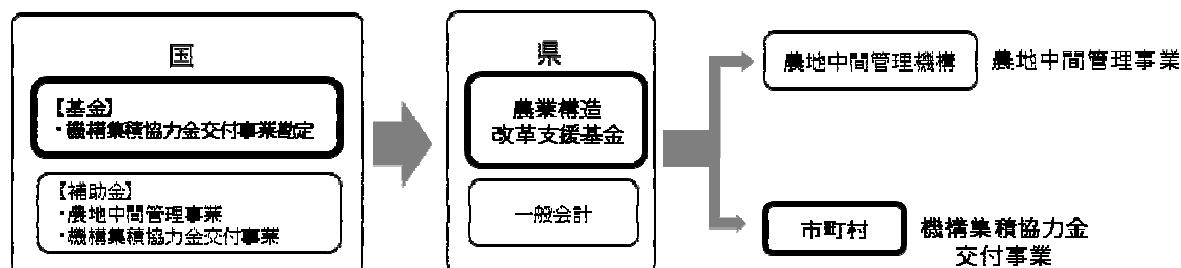
(1) 事業目標

年間1,090haを新たに担い手に集積する。

(2) 取組状況・改善点

- ・農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い、「地域計画」に基づいた農地中間管理機構による農地の集積・集約化等をさらに加速するため、国の事業が令和5年度補正予算化された。
- ・県は、この事業を積極的に活用し、農地の集積・集約化の推進を図っていく。

【基金積立金の流れ】



令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費

生産振興課（内線：7283）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）産地生産基盤パワーアップ事業	0	118,500	118,500	105,500		（雑入） 13,000		
トータルコスト	0	119,280	119,280	（補正に係る主な業務）				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	関係団体との連絡調整、補助金交付事務				

【財源内訳「その他」の内訳】雑入：公益財団法人日本特産農産物協会からの助成金13,000千円
事業内容の説明

1 事業の目的、概要

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業団体等が行う施設整備、農業機械及び生産資材の導入等を推進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業内容	実施主体	事業費	予算額	補助率
<整備事業> 野菜等の施設整備等を支援 <内容> 大豆の乾燥調製施設整備による機能向上 麦・大豆産地の生産性効率化の機械導入	農業者、農業者の組織する団体等	211,000	105,500	国 1/2
<生産支援事業> 野菜、果樹等の農業機械等のリース導入、生産資材導入を支援 <内容> 資材、機械リース等		26,000	13,000	協会 助成金 1/2
合計		237,000	118,500	

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

共同利用施設及び産地の生産環境を整備しながら、早急に県内の主要産地の活力増進を図る。

(2) 取組状況・改善点

- ・農業の国際競争力を強化するために、平成27年度国補正予算で産地パワーアップ事業が創設された。
- ・県はこれまで当該事業を積極的に活用し、共同利用施設及び産地の生産環境を整備しながら、早急に県内の主要産地の活力増進を図っている。

○令和5年度明許予算（産地生産基盤パワーアップ事業）465,800千円

【産地パワーアップ事業（国）を活用した県内の主な取組事例】

年度	市町村（JA）	作物	事業内容	補助金額（百万円）	備考
R元	湯梨浜町（JA中央）	梨	集出荷貯蔵施設	85	R2.3月完成
R3	北栄町（JA中央）	長芋	集出荷貯蔵施設	128	R4.3月完成
R4	北栄町 琴浦町（JA中央）	スイカ ブロッコリー	集出荷貯蔵施設 製氷設備	588 55	R5.3月完成 R5.3月完成
H27～ R5	鳥取市、北栄町、倉吉市、大山町、琴浦町他（各JA）	葉物野菜、スイカ、イチゴ、アスパラガス、トマト、花壇苗等	鳥取型低コストハウス整備 ※他の国事業等活用分は除く。	（～R4年度末実績） 1,420 （R5年度見込） 232	1,518棟、43.3ha （R5年度末見込）

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7272）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	0	232,134	232,134			（雑入） 139,280	92,854	
トータルコスト	0	232,914	232,914	（補正に係る主な業務内容） 関係団体との連絡調整、補助金交付事務				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人					

【財源内訳「その他」の内訳】雑入：公益財団法人日本特産農産物協会からの助成金 139,280 千円

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、県と関係機関が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益な施設園芸品目の生産拡大を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業内容	実施主体	事業費	予算額	補助率
スイカなどの産地強化を図るために、鳥取型低コストハウスの整備に要する経費の一部を助成	農業者 生産法人 生産組織 JA等	417,840	232,134	国 1/3 程度（資材費の 1/2） 県 2/9 程度 市町村 1/9 程度 ※補助率が 2/3 となるよう県と市町村が 2:1 の負担割合で嵩上げ

3 事業目標・取組状況・改善点

（1）事業目標

「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」に基づき、低コストハウスの導入を推進する。

（2）取組状況・改善点

- ・県は「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」に基づき、収益性の高い施設園芸等を推進している。
- ・鳥取型低コストハウスの整備が加速的に進んでおり、施設園芸の強みを活かした産地強化が図られている。

○令和5年度明許予算（鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業）230,750 千円

【低コストハウスの導入実績及び計画】

年度	導入面積（棟数）	主な作物	実施市町村
H27年度～R2年度	34.3ha (1,206)	スイカ・葉物野菜、トマト、アスパラガス、育苗（ネギ、ブロッコリー）、花壇苗、イチゴ・小玉スイカ、ブドウ	鳥取、岩美、八頭、智頭、倉吉、湯梨浜、三朝、北栄、琴浦、大山、米子、境港、伯耆、日南
R3年度 [明許繰越]	4.3ha (165)	アスパラガス スイカ トマト	鳥取 倉吉、北栄、琴浦 日南
R4年度 [明許繰越]	4.9ha (174)	アスパラガス スイカ ブロッコリー育苗	鳥取 倉吉、北栄、琴浦 大山
R5年度 [明許繰越] (11月8日現在)	3.7ha (121) (見込)	スイカ	倉吉、北栄、琴浦
R5年度	3.6ha (119) (計画)	スイカ ブロッコリー育苗	倉吉、北栄、琴浦 大山
合 計	50.8ha (1,785)		

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

生産振興課（内線：7272）

6目 農作物対策費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業	0	2,000	2,000	2,000				
トータルコスト	0	2,780	2,780	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	関係団体との連絡調整、補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

近年、頻発する大雪、台風等の気象災害による農業用ハウスの被害の拡大を踏まえ、複数農業者等による事業継続計画（BCP）の検討・策定に向けた取組と、BCPに沿って行う既存の農業用ハウスの補強や防風ネット設置等の気象災害防止対策を行う農業者等を支援する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	実施主体	補助率	予算額
（1）事業継続計画（BCP）の検討・策定に向けた取組 ・マニュアルの作成 ・補強や保守管理のための技術指導や講習会の開催等	J A、地域農業再生協議会、農業者等 市町村	国 定額	150
	県		350
（2）既存ハウスへの被害防止対策 ・野菜・花き、果樹用のパイプハウスの補強に対する支援	市町村、農業者団体、 地域農業再生協議会、 農業者等	国 1/2	1,500
合計			2,000

※（1）の実施にあたって、市町村単位で実施する場合は市町村を通じた間接補助

3 事業目標・取組状況・改善点

（1）事業目標

「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」に基づき、農業被害の未然防止に向けた農業技術対策や農業用施設の点検・補強等を推進する。

（2）取組状況・改善点

- ・県は「農業用パイプハウス強化マニュアル」を作成・配付するとともに、鳥取県農業気象協議会と共催で、パイプハウスの気象災害対策やハウス補強等に係る県全体の研修会を開催している。
- ・県は市町村等と連携を図りながら、これまで110箇所（3.4ha）のハウス補強を支援している。

○令和5年度明許予算（ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業）2,000千円

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

生産振興課 (内線: 7 2 8 0)

6 目 農作物対策費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) コメの高温障害対策緊急事業	0	3,000	3,000	500			2,500	
トータルコスト	0	3,780	3,780	(補正に係る主な業務内容) 関係団体との連絡調整、補助金交付事務				
従事する職員数	0.0 人	0.1 人	0.1 人					

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和6年産の水稻栽培に向けて、夏季の高温障害軽減のための栽培技術対策の検討や1等米比率が高い「星空舞」や「きぬむすめ」への品種転換の検討を行い、特に高温に強い星空舞の更なる品質安定に向けた実証試験等に緊急に取り組むとともに、それらの情報を幅広く農業者へ周知する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	事業内容	実施主体	予算額	補助率
高温障害対策技術の策定	・令和5年産米の高温障害の検証 ・コメ高温障害対策検討会の開催 ・令和6年産の高温障害技術対策の策定	県	300	—
星空舞への品種転換に向けた高温対策技術の実証	令和6年産星空舞における堆肥施用効果の検証 (農業試験場や現地圃場)	鳥取県産米改良協会	1,000	国 1/2 県 1/2
農業者への周知	<令和6年産高温障害技術対策> チラシ配布、メディアを活用したPR、米づくり研修会での周知	県	1,700	—
合 計			3,000	

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

令和5年産の状況の検証を行ったうえで、令和6年産に向けた夏季の高温障害軽減対策を検討する。また、検討した技術対策を幅広く農家へ周知し、コメの品質の改善を図る。

(2) 取組状況・改善点

- ・令和5年産のコメの品種別の10月末時点の1等米比率は、次のとおりである。(県内3JA)
ひとめぼれ: 31.9% (昨年 48.4%)、コシヒカリ: 29.8% (昨年 47.2%)、星空舞: 65.2% (昨年 85.6%)、きぬむすめ: 78.1% (昨年 83.6%)
- ・地域により1等米比率の実情は異なることから、栽培品種や地域性を加味してコメの高温障害の発生状況の検証、技術対策や将来の栽培品種の転換などを協議するため新たにコメ高温障害対策検討会を立ち上げ、関係機関とも連携し早急に方向性、技術対策を決定し、農業者へ広く周知することが必要である。
- ・高温に強い「星空舞」を推進することとしているが、具体的な拡大計画についてはJA等関係機関と栽培面、販売面などを踏まえた全体の品種バランスを考慮しながら進める必要がある。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課（内線：7321）

1目 農地総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)国土調査事業 (国補正)	0	253,749	253,749	169,166			84,583	
トータルコスト	0	255,595	255,595	(補正に係る主な業務内容) 事業に係る審査、実施内容の審査、補助金事務、国との調整				
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人					

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

災害への迅速な対応や公共事業の効率的な実施などのために、国土調査法に基づき一筆地ごとの土地の所有者、地番、地目及び境界に関する確認調査を実施し、地籍図・地籍簿として取りまとめる地籍調査事業を行う市町に対して補助する。

2 主な事業概要

（単位：千円）

事業名	予算額	実施主体	補助率	内容
地籍調査事業	253,749	市町	国1/2 県1/4 (市町1/4)	地籍調査事業の実施市町への補助

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

地籍調査への支援 令和11年度末の進捗率48.1%

(2) 取組状況

- ・毎年研修会を開催している。
- ・市町職員、県民からの相談対応やアドバイスをを行っている。
- ・地籍調査実施市町村への補助金を助成し地籍調査を促進する。
- ・令和4年度末の進捗率は37.5%で、前年度より1.5%伸ばした。

(3) 改善点

- ・より効果的な調査を実施するため、公共事業や防災対策と連携した調査箇所を優先実施する。
- ・効率的な地籍調査の実施を目的として、航空レーザ測量等の新技術を活用した地籍調査を推進するため、研修会の開催や個別支援を実施する。

○令和5年度明許予算（国土調査事業（国補正）） 158,231千円

○令和5年度当初予算（国土調査事業） 598,514千円

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課（内線：7326）

2目 土地改良費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) (公共事業) 農業農村整備事業 (国補正)	0	968,000	968,000	562,125	<125,000> 250,000	(負担金等) 151,100	4,775	県費負担 129,775
トータルコスト	0	971,120	971,120	(補正に係る主な業務内容) 事業に係る審査、実施内容の審査、県営工 事の執行、補助金事務、国との調整				
従事する職員数	0.0人	0.4人	0.4人					

事業内容の説明

【財源内訳「その他」の内訳】分担金及び負担金151,100千円

1 事業の目的、概要

T P P等関連対策として農業の競争力強化のための農地の区画拡大や汎用化、農道及び営農飲雑用水施設の整備を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名		補正前	補正	計	補正理由
補助事業	(新) 経営体育成基盤整備 事業 (国補正)	0	285,000	285,000	国補正に伴う補 正
	(新) 農地集積加速化農地 整備事業 (国補正)	0	369,000	369,000	
	(新) 県営畑地帯総合整備 事業 (国補正)	0	260,000	260,000	
	小計	0	914,000	914,000	
団体 営	(新) 農道保全対策事業 (国補正)	0	54,000	54,000	国補正に伴う補 正
	小計	0	54,000	54,000	
補助事業 計		0	968,000	968,000	
補正に係るもの 計		0	968,000	968,000	

（着工地区の概要：別紙のとおり）

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

生産基盤の整備・保全を行い、低コストで多様な農業が展開できるよう農家を支援する。

(2) 取組状況・改善点

令和5年度国補正予算を活用して事業の早期効果発現を図る。

基盤整備を通じた地域農業の展開方法や儲かる農業の実現に向かうため、普及関係や担い手、関係部局との連携をより一層強化する必要がある。

○令和5年度明許予算（農業農村整備事業（国補正）） 227,942千円

○令和5年度当初予算（農業農村整備事業） 1,279,596千円

○令和5年度6月補正（農業農村整備事業） 697,186千円

（注）起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

3項 農地費

農地・水保全課（内線：7325）

4目 農地防災事業費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) (公共事業) 農地防災事業 (国補正)	0	926,100	926,100	544,680	<144,000> 288,000	(負担金等) 92,880	540	県費負担 144,540
トータルコスト	0	929,220	929,220	(補正に係る主な業務内容) 事業に係る審査、実施内容の審査、県営工事の執行、補助金事務、国との調整				
従事する職員数	0.0人	0.4人	0.4人					

事業内容の説明 【財源内訳「その他」の内訳】 分担金及び負担金92,880千円

1 事業の目的、概要

国土強靱化対策として農村地域の防災力の向上を図るため、ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災対策を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名		補正前	補正	計	補正理由
補助事業 県営	(新) 県営農地防災事業調査 (国補正)	0	78,500	78,500	国補正に伴う補正
	(新) 県営地域ため池総合整備事業 (国補正)	0	561,900	561,900	
	(新) 県営特定農業用管水路等特別対策事業 (国補正)	0	100,000	100,000	
	(新) 県営農業用河川工作物応急対策事業 (国補正)	0	185,700	185,700	
小計		0	926,100	926,100	
補助事業 計		0	926,100	926,100	
補正に係るもの 計		0	926,100	926,100	

（着工地区の概要：別紙のとおり）

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

農村地域の防災力の向上を図るため、ため池等の土地改良施設の防災減災対策を実施する。

(2) 取組状況・改善点

令和5年度国補正予算を活用して事業の早期効果発現を図る。

今後、ため池が決壊した際の下流影響度や地元調整状況を踏まえ、計画的に改修工事やソフト対策を併せて進めていく。

- 令和5年度明許予算（農地防災事業（国補正）） 656,073 千円
- 令和5年度当初予算（農地防災事業） 343,100 千円
- 令和5年度6月補正（農地防災事業） 675,567 千円

（注）起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
2 項 畜産業費
2 目 畜産振興費

畜産振興課（内線：7831）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
(新) 畜産クラスター施設整備事業	0	75,000	75,000	75,000												
トータルコスト	0	75,780	75,780	(補正に係る主な業務内容)												
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付事務、関係機関との連絡調整												
事業内容の説明																
1 事業の目的、概要																
県内の畜産生産基盤の強化を図るため、国庫補助事業（畜産クラスター事業（畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業））を活用して施設整備を行う法人等を支援する。																
2 主な事業内容																
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産環境対策総合支援事業）																
畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う畜産環境対策の施設・機械整備を支援する。																
<ul style="list-style-type: none"> ・国補助率1/2（間接補助事業） ・補助金の流れ：国→県→市町村→事業実施主体 																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J A</td> <td>新規就農者が行う施設・機械整備を支援する。</td> <td>150,000千円</td> <td>75,000千円</td> </tr> </tbody> </table>									実施主体	事業内容	事業費	予算額	J A	新規就農者が行う施設・機械整備を支援する。	150,000千円	75,000千円
実施主体	事業内容	事業費	予算額													
J A	新規就農者が行う施設・機械整備を支援する。	150,000千円	75,000千円													
3 事業目標・取組状況・改善点																
(1) 事業目標																
鳥取県農業生産1千億円達成プラン及び鳥取和牛振興計画に掲げる繁殖雌牛7,000頭、肥育牛出荷頭数5,000頭といった目標達成により、鳥取和牛の振興を図る。																
(2) 取組状況・改善点																
国は平成27年度補正で畜産クラスター事業を始め、施設整備については国事業で取組むことになった。これまで20地区が畜産クラスター事業を活用した。（令和5年度11月1日現在）																
事業実施により酪農・肉用牛とも増頭が進み、生産性向上が図られている。																
○令和5年度明許予算（畜産クラスター施設整備事業（国補正））455,200千円																

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

県産材・林産振興課 (内線：7297)

2目 林業振興費

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 木材産業国際競争力強化対策事業	0	216,015	216,015	190,368			25,647	
トータルコスト	0	216,795	216,795	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内森林資源の有効活用、木材製品の国際競争力強化及び花粉発生源であるスギ人工林の伐採等を目的に、県内スギ人工林等を伐採搬出するための生産基盤の整備、木材加工流通施設の大規模・高効率化、供給力強化の整備を支援する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業内容	実施主体	補助対象	補助率等	予算額		
木材加工流通等施設整備	木材加工業者等	木材乾燥機 グレーディング グマシーン	(1) 木材加工流通施設整備 国 1/2 以内、県 1/6 以内 (2) 附帯事務費 国 1/2 以内	70,001		
高性能林業機械等の整備	森林組合等	ウインチ付き グラップル3台	国 1/2 以内	31,750		
路網整備	森林組合等	林業専用道作設：1,920m	林業専用道作設：定額 (国+県嵩上げ)	83,296		
			平均地山傾斜		国費平均	県費上限
			15度未満		32千円/m	—
			15度以上25度未満		35千円/m	3千円/m
			25度以上		38千円/m	7千円/m
			既設道の補強：定額 附帯事務：国 1/2 以内			
航空レーザ計測	県	鳥取市他 14,076ha	定額 2,200円/ha	30,968		
合 計				216,015		

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

県内森林資源を有効に活用するため、生産基盤及び製品供給力強化を図る取組に対し支援し、県産材の供給力強化や県産材への転換等を図る。

(2) 取組状況・改善点

- ・平成27年度から国のTPP等関連経済対策事業を活用し、合板・製材・集成材製造施設の生産力強化及びこれらの施設へ原木を低コストで安定供給するために生産基盤整備の支援を行ってきた。
- ・今後は花粉発生源であるスギ人工林の伐採を効果的、集中的に実施していく。

○令和5年度明許予算 (木材産業国際競争力強化対策事業) 960,402千円

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

県産材・林産振興課（内線：7297）

6目 林道費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																				
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																					
(新) (公共事業) 林道事業 (国補正)	0	20,000	20,000	10,000	<3,000> 6,000	(負担金) 1,125	2,875	県費負担 5,875																				
トータルコスト	0	20,780	20,780	(補正に係る主な業務内容) 補助金申請事務、県営事業の執行・監督など																								
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人																									
事業内容の説明				【財源内訳「その他」の内訳】負担金1,125千円																								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>間伐、皆伐再造林等の森林整備を効率的に行うこと及び適正な森林整備の推進により森林の多面的機能の高度発揮を図ることを目的に、幹線となる林道の開設及び改良等を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>補正前</th> <th>補正</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営森林環境保全整備林道事業</td> <td>森林資源循環利用林道事業</td> <td>0</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>老朽化対策</td> <td>0</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補正に係るもの計</td> <td>0</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>（着工地区概要：別紙のとおり）</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>(1) 事業目標</p> <p>森林整備や木材搬出の促進、災害時等の代替路機能など、林道が持つ効用を早期に発現させる。</p> <p>(2) 取組状況・改善点</p> <p>優先順位を定めて計画的に整備を行い、森林整備や木材搬出に必要な路網の早期構築に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度明許予算（林道事業（国補正））797,999,641円 ○令和5年度当初予算（林道事業）644,555千円 ○令和5年度6月補正（林道事業）305,583千円 									事業名	事業内容	補正前	補正	計	県営森林環境保全整備林道事業	森林資源循環利用林道事業	0	15,000	15,000		老朽化対策	0	5,000	5,000	補正に係るもの計		0	20,000	20,000
事業名	事業内容	補正前	補正	計																								
県営森林環境保全整備林道事業	森林資源循環利用林道事業	0	15,000	15,000																								
	老朽化対策	0	5,000	5,000																								
補正に係るもの計		0	20,000	20,000																								

(注)起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
4 項 林業費
5 目 造林費

森林づくり推進課（内線：7305）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
特定母樹等早期供給体制構築事業	5,450	30,558	36,008	30,558				
トータルコスト	14,806	31,338	46,144	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.2人	0.1人	1.3人	補助金交付に係る事務、国との調整等				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

成長が早く、花粉が少ないなど、育林コストの削減やCO2吸収源対策の強化が期待できる特定母樹（エリートツリー）や早生樹の早期安定供給に向けて、先端的な育種技術を持つ民間事業者による採種園造成や、県内苗木生産者が行う育苗の効率化・高品質化に資する取組を支援する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施主体	補助率	予算額
特定母樹採種園造成支援事業	特定母樹の苗木生産に必要な種子を供給するため、新たに採種園の造成を行う。	認定特定増殖事業者 (知事が認定する民間事業者)	国：定額 ・開放型採種園の場合 造成経費 上限750千円/母樹50本 ・閉鎖型採種園の場合 造成経費 上限7,000千円/母樹50本	30,558

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

カーボンニュートラルへの貢献や林業経営にメリットの高い特定母樹等の早期安定供給体制を構築する。

(2) 取組状況・改善点

- ・令和4年度に県内初のスギ・ヒノキ特定母樹の採種園が整備された。
- ・安定的に種子採取量を確保するため、計画的に採種園の整備を進めている。
- ・苗木生産者に対して、高品質な1年生苗木の生産に係る技術指導を行うとともに、特定苗木の生産に必要な施設整備を支援している。
- ・カラマツ特定母樹やコウヨウザン等の早生樹についても、安定的かつ柔軟に苗木供給できるよう、施設整備や技術普及を進めていく。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

森林づくり推進課 (内線：7305)

4目 森林病虫害防除費

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林病虫害等防除事業	79,635	30,000	109,635				30,000	
トータルコスト	80,415	30,780	111,195	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.1人	0.2人	松くい虫の枯損木の伐倒駆除				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

森林の保全を図り、森林の持つ公益的機能を高度に維持するため、松くい虫の駆除及びまん延防止対策を実施する。

2 主な事業内容

(1) 松くい虫被害対策

松くい虫被害の拡大を防止し重要な松林を保全するため、防除対策を実施する。

(単位：千円)

項目	内容	実施主体	補助率	補正前	補正	計
伐倒駆除等	被害木の伐倒、薬剤処理等	市町村	県1/2	11,074	30,000	41,074
		県	—			

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

松くい虫やナラ枯れなどの森林病虫害被害の低減及びまん延防止。

(2) 取組状況・改善点

森林の病虫害による被害まん延防止のため、駆除や予防対策を実施している。

社会情勢や森林周辺環境等の変化による新たな課題等への対応が必要となっているため、対策の見直しを図る。

- ・無人機・UAV等を活用した薬剤散布

実施上の問題点を検証することとしており、鳥大と共同で試験を行う方向で調整中。

- ・薬剤散布から樹幹注入への転換

現在、空中散布を実施している北栄町新田場の松林において、樹幹注入を実施する予定。

(実施は薬剤処理適期の1月から3月になる見込み)

- ・民間活力による防除支援

1月に民間団体等を対象にした研修会を開催。外部講師による講演や先行取組団体による事例紹介、現地研修会などを行う予定。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

4 項 林業費

森林づくり推進課（内線：7305）

5 目 造林費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考																	
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																		
（新）（公共事業） 造林事業（国補正）	0	471,620	471,620	300,000	< 57,000 > 114,000	(基金繰入金) 56,768	852	県費負担 57,852																	
トータルコスト	0	471,907	471,907	（補正に係る主な業務内容） 補助金交付事務、国との調整等																					
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人																						
事業内容の説明																									
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、木材生産等森林の持つ多面的機能に対する国民の要請が多様化する中、森林を適切に管理することによって、これらを高度に発揮させるため、一定の要件を満たす森林組合、林業事業体、森林所有者等が行う森林整備（間伐、森林作業道の開設等）に対し支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>補正前</th> <th>補正</th> <th>計</th> <th>補正理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 25%;">森林環境保全整備事業</td> <td style="width: 35%;">森林環境保全直接支援事業</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">471,620</td> <td style="text-align: right;">471,620</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">令和5年度国補正に伴う増額補正。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">補正に係るもの 計</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: right;">471,620</td> <td style="text-align: right;">471,620</td> </tr> </tbody> </table> <p>（着工地区の概要：別紙のとおり）</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <p>（1）事業目標</p> <p>森林整備を推進し、森林の有する様々な公益的機能を維持増進する。</p> <p>（2）取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林の有している様々な機能を維持増進するため、一定の要件を満たす森林に対して助成を行ってきた。 ・近年は、間伐推進、森林作業道整備、松くい虫被害地対策への支援、竹林の拡大防止、皆伐再造林の推進を含めて事業実施している。 ・間伐、森林作業道整備及び皆伐再造林が着実に進んでいる。 <p>○令和5年度明許予算（造林事業（国補正））853,823千円</p> <p>○令和5年度当初予算（造林事業）544,153千円</p> <p>○令和5年度6月補正（造林事業）317,137千円</p>									区分		補正前	補正	計	補正理由	森林環境保全整備事業	森林環境保全直接支援事業	0	471,620	471,620	令和5年度国補正に伴う増額補正。	補正に係るもの 計		0	471,620	471,620
区分		補正前	補正	計	補正理由																				
森林環境保全整備事業	森林環境保全直接支援事業	0	471,620	471,620	令和5年度国補正に伴う増額補正。																				
補正に係るもの 計		0	471,620	471,620																					

（注）起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 5 項 水産業費
 6 目 水産試験場費

水産試験場（電話：0859-45-4500）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
水産試験場管理運営費	124,636	3,971	128,607				3,971	
トータルコスト	158,985	4,751	163,736	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	5.1人	0.1人	5.2人	庁舎冷暖房設備更新設計委託				
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>水産試験場の冷暖房設備（吸収式冷温水発生機）に故障が相次ぎ、設備の経年劣化も進んでいることから冷暖房設備の更新を行うため設計委託を行う。</p> <p><補正理由></p> <p>(1) 設備は設置後34年が経過し、腐食等により故障時の修繕作業も難航するなど、故障の再発等で使用出来なくなる可能性も高くなっており早期の改修が必要となっている。</p> <p>(2) 水産試験場の立地上、耐重塩害仕様のエアコン等を導入する必要があるが、半導体不足などの昨今の状況から納入に不測の日数を要する懸念もあり、早期に設計を終え工事に着手する必要がある。</p>								
2 主な事業内容								
<p>既設の中央熱源方式を取りやめ、各室エアコン新設による個別空調方式に更新する。</p> <p>(1) 個別冷暖房器具の設置及び既設設備の撤去計画</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 設計 令和6年2月～5月（4か月）</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 工事 令和6年7月～令和7年1月（6か月）</p> <p>(2) 設計委託料 3,971千円</p> <p style="padding-left: 20px;">※工事請負費 68,269千円は令和6年度予算検討予定</p>								

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

食パラダイス推進課(内線:7834)

1目 農業総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)インバウンド・国内観光誘客促進「食パラダイス鳥取県」魅力発信事業	0	10,000	10,000				10,000	
トータルコスト	0	10,780	10,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	企画運営、普及啓発、補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

観光客への訴求力のある県内飲食店(行列ができるラーメンやカレー、スイーツ店など)の情報発信や飲食店のキャッシュレス・多言語対応等の環境整備、海外での情報発信等を行い、国内外からの観光客へのおもてなし体制の強化を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	事業内容	予算額
国内外観光客向けグルメ情報発信	地域の食文化やローカルな味を求める国内外からの観光客に向けて、県内飲食店情報や本県の食の魅力等の情報を発信する。 (例) ・外国人観光客に対して県内飲食店の割引サービスを盛り込んだクーポンブックの作成 ・訴求力のある県内飲食店(ラーメンやカレー、スイーツ店など)の情報を盛り込んだ観光グルメマップ(日本語及び多言語)の作成など	10,000
ハイエンドなお店づくりの強化	インバウンドの再開や国内観光の増加に伴い、観光客のニーズが多様化していることから、ハイエンドなお店を求めるニーズに対応できる県内飲食店等の構築に向けた研修会等を実施する。 (例) ・調理師連合会や技能士会と連携した料理研究の実施 ・鳥取の「食文化」や「料理」の魅力に焦点を当てたハイエンドなお店作り等研修会の実施	
インバウンド受入環境整備の充実	メニュー・サービス等の開発・改良や接客研修支援を行う。 (例) ・地元食材を使用した新メニュー・食べ歩きグルメ・デリバリーサービス 事業実施主体:食パラダイス鳥取県アンバサダー(補助率 県2/3) (参考) ・県内飲食店の受入態勢整備支援(外国人観光客倍増促進補助金で対応)キャッシュレス対応や案内看板・メニューの多言語対応など	
「食パラダイス鳥取県」海外発信事業	本県の農産物の海外輸出を更に促進し、「食パラダイス鳥取県」の認知度向上や観光客誘客に繋げるためのプロモーションを実施する。 ・対象国・地域:台湾、タイ、マカオなど	

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

- ・国内外観光客へのおもてなし体制強化
- ・海外における県産品の知名度向上や誘客促進

(2) 取組状況・改善点

- ・「食パラダイス鳥取県」として、ラーメン、カレーライス、スイーツ等を観光コンテンツ化するため、様々なイベント開催や情報発信を行ってきた。
- ・台湾、香港では、現地レストランフェアを実施する等して輸出の定着を図ってきた。
- ・県内人気店の情報発信や飲食店のキャッシュレス・多言語対応等の環境整備並びに海外での情報発信等を行い、国内外からの観光客へのおもてなし体制の強化を図る。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

3 項 農地費

2 目 土地改良費 <地方機関計上予算>

東部農林事務所（電話：0857-20-3575）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 湖山池 周辺農地水利 施設改修事業	0	10,000	10,000	5,000	<2,000> 2,000	<雑入> 1,000	2,000	県費負担 4,000
トータルコスト	0	10,780	10,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	設計積算、現場監督、関係機関との調整				
事業内容の説明				【財源内訳「その他」の内訳】雑入1,000千円				
1 事業の目的、概要								
湖山砂丘畑は、送水管により農業用水を確保しているが、その送水管が破損したため、かんがいを再開する令和6年3月までに復旧工事を行う。								
2 主な事業内容								
（単位：千円）								
事業内容	実施主体	負担割合		予算額				
送水管復旧1式	県	国5/10 県4/10 市1/10		10,000				
3 事業目標・取組状況・改善点								
(1) 事業目標 破損した送水管を復旧し、湖山砂丘畑の農業用水を確保する。								
(2) 取組状況・改善点 平成24年3月から開始した湖山池汽水湖化の取組に伴い、県と鳥取市の協働により湖山池周辺地域の農業振興対策を実施してきた。								

(注) 起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。